

感染防止対策

手指衛生

個人防護具(PPE)の着脱

2020年11月11日
わかくさ竜間リハビリテーション病院
医療安全部
ICN:小林 正美

本日の内容

- ・標準予防策と経路別予防策
- ・個人防護具(PPE)について
- ・個人防護具(PPE)の着衣方法
- ・個人防護具(PPE)の脱衣方法
- ・手指衛生
- ・まとめ

標準予防策と経路別予防策

標準予防策(スタンダードプリコーション)
全ての人の血液、体液、分泌物、汗以外の排泄物、創傷、粘膜を感染の可能性があるものとして対応する

標準予防策 (すべての人)

空気感染対策
(呼吸で感染)

飛沫感染対策
(飛沫で感染)

接触感染対策
(接触で感染)

個人防護具(PPE)

個人防護具を適切に使用することで、湿性生体物質による汚染から医療従事者を守り、患者を守り、医療感染を減少させることにつながる。

- * 手の汚染→手袋
- * 顔の粘膜の汚染→マスク、ゴーグル、フェイスシールド
- * ユニフォームや体の汚染予防→ガウン、エプロン

マスク

(飛沫感染対策・空気感染対策)

- サージカルマスク



- N95マスク



眼の防護具(飛沫感染対策)

- セーフティグラス



- フィルム交換型ゴーグル



- フェイスシールド



手袋・長袖ガウン・エプロン等 (接触感染対策)

- ・ニトリル手袋
- ・プラスチック手袋
- ・キャップ



- ・長袖ガウン



- ・エプロン



個人防護具 (PPE) の着衣方法

着用順

- 長袖ガウン
- サージカルマスク
- 眼の防護具
- キャップ
- 手袋

- * 身に付ける順番にPPEを並べる
- * 着用の際は鏡で確認
- * 2人いる場合は協力して着用する

実技

1. 手指衛生



2. 長袖ガウン



実技

3. サージカルマスク



4. 眼の防護具



5. キャップ



6. 手袋



実技

脱衣順

→ 長袖ガウン、手袋

→ キャップ

→ 眼の防護具

→ サージカルマスク

* 脱衣途中で手指が汚染したと感じた場合は、
手指消毒を実施

* バイオハザードBOXに廃棄する際ははみださないように廃棄
する→廃棄物が8分目になったらBOXを交換する

実技

1. 長袖ガウン・手袋

* ガウンの表面、上胸部付近をつかみ、首の部分を引きちぎる



実技

3. 裏が表になるように、裏返ししながら脱ぐ



実技

4. 上半身部分をウエストのあたりまで内側に包みこむ



実技

5. 下半身部分のガウンをウエストのあたりに小さくまとめる



実技

6. ガウンを前にひっぱってちぎり、小さくまとめる



実技

7. ガウンと手袋を外した時点で
外した時点で
手指衛生



8. キャップを後ろ側から
外す



実技

9. 表面に触れないように
眼の防護具を外す



10. ゴムひも部分を持って、マスクを外す



* 顔に触れない

実技

11. 最後に手指衛生

- * 脱衣途中で手指が汚染したかも・・・
と感じたら手指衛生をする



手指衛生は最も重要な感染対策

- 手は便利な道具なので、いろいろな物に触る
- 微生物は目に見えませんが、私たちの手には多くの微生物が付着している
- その手でいろいろな物に触れることによって、私たちの手は微生物の運び屋となってしまう



入退室の際は
必ず
エタプラスを使用する

擦式アルコール製剤での手指衛生

目に見える汚れが無い場合に実施する



ひと押し分
を手にとる



指さき爪に
擦りこむ



手のひら



手の甲



指の間



親指



手首もしっかりと

石けんと流水による手洗い

目に見える汚れがある場合、感染性胃腸炎疑い患者など



手のひら



手の甲



指先・爪



指の間



親指



手首

手洗い後は手をよく乾燥させましょう

まとめ

- ・日頃からの標準予防策の徹底→**手指衛生、適切な防護具の使用**
- ・初期対応が最も重要→**普段と違う、おかしいと感じたらすぐに報告**
- ・1人1人が正しい感染対策の知識と技術を身につける→**全員で取り組む**

